



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 プレス工業株式会社
 コード番号 7246 URL <https://www.presskogyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 美野 哲司
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 笹岡 孝紀 TEL 044-276-3901
 四半期報告書提出予定日 2022年11月7日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	87,536	15.9	5,016	△8.3	5,704	5.3	3,930	18.9
2022年3月期第2四半期	75,521	—	5,471	—	5,415	—	3,306	—

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 8,859百万円（50.8%） 2022年3月期第2四半期 5,875百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	37.76	—
2022年3月期第2四半期	30.50	—

（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	177,396	108,808	56.1	965.59
2022年3月期	172,617	103,219	54.9	899.34

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 99,568百万円 2022年3月期 94,794百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	9.50	—	10.50	20.00
2023年3月期	—	10.50	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	10.50	21.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,600	16.0	12,100	△2.6	12,900	1.8	7,600	6.9	73.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	108,594,270株	2022年3月期	111,015,070株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	5,477,445株	2022年3月期	5,610,620株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	104,088,283株	2022年3月期2Q	108,399,888株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内及び海外のトラック・建設機械の事業環境は、中国ロックダウン、半導体不足、物流混乱等による部品供給制約の継続、欧州情勢によるエネルギーコスト及び資源価格の高騰等、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループにおいても、各拠点の生産活動に大きな影響が生じる中、生産体制の見直しや合理化活動を推進し、収益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、急激な円安進行、原材料価格の上昇、エネルギーコスト高騰の影響等を受け、売上高は、875億36百万円（前年同期比15.9%増）、営業利益は50億16百万円（前年同期比8.3%減）、経常利益は57億4百万円（前年同期比5.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は39億30百万円（前年同期比18.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（自動車関連事業）

当セグメントにおける国内及び海外の事業環境及び業績は次のとおりであります。

【国内】

普通トラックの国内需要は前年同期比15.3千台減の25.3千台、小型トラックの国内需要は前年同期比8.7千台減の32.5千台となりました。輸出は普通トラック・小型トラックともに前年同期に比べ増加しましたが、国内の生産は前年同期に比べ減少しました。

【タイ】

1トンピックアップトラックの国内需要・輸出の増加により、TSPKグループの生産は前年同期に比べ増加しました。

【米国】

国内需要は減少したものの、新規立上げ等により、PK U.S.A., INC. の生産は前年同期に比べ増加しました。

【インドネシア】

商用車の国内需要及び輸出の増加により、PT. PK Manufacturing Indonesiaの生産は前年同期に比べ大幅に増加しました。

【スウェーデン】

欧州での商用車需要は前年同期と同水準であるものの、受注製品が好調に推移したため、PRESS KOGYO SWEDEN ABの生産は前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は716億75百万円（前年同期比22.4%増）となり、セグメント利益は65億93百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

（建設機械関連事業）

当セグメントにおける国内及び海外の事業環境及び業績は次のとおりであります。

【国内】

協和製作所の生産は鉱山機械が堅調に推移し前年同期に比べ増加しましたが、当社尾道工場の生産は減少しました。

【中国】

普萊斯工業小型駕駛室（蘇州）有限公司（PRESS KOGYO MINI CABIN（SUZHOU）CO., LTD.）の生産は国内需要の低迷により、前年同期に比べ減少しました。なお、蘇州普美駕駛室有限公司（PM CABIN MANUFACTURING CO., LTD.）については2021年9月28日付で解散し清算手続中であります。

以上の結果、当セグメントの売上高は158億32百万円（前年同期比7.0%減）となり、セグメント利益は96百万円（前年同期比90.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,773億96百万円となり、前連結会計年度末比47億78百万円の増加となりました。その主な要因は、機械装置及び運搬具（純額）の増加によるものであります。

負債は、685億87百万円となり、前連結会計年度末比8億10百万円の減少となりました。その主な要因は、短期借入金の減少によるものであります。

純資産は、1,088億8百万円となり、前連結会計年度末比55億88百万円の増加となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定の増加によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は56.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、本日（2022年11月7日）公表いたしました「2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,569	21,650
受取手形及び売掛金	44,252	39,023
商品及び製品	1,384	1,973
仕掛品	11,228	14,277
原材料及び貯蔵品	1,664	1,914
未収還付法人税等	31	6
その他	4,240	5,134
貸倒引当金	△12	△2
流動資産合計	84,359	83,977
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,011	13,040
機械装置及び運搬具（純額）	15,815	19,149
土地	32,263	32,487
その他（純額）	14,269	14,740
有形固定資産合計	74,359	79,418
無形固定資産		
その他	588	574
無形固定資産合計	588	574
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,294	1,402
退職給付に係る資産	3,745	3,809
投資その他の資産	8,350	8,292
貸倒引当金	△79	△76
投資その他の資産合計	13,311	13,427
固定資産合計	88,258	93,419
資産合計	172,617	177,396
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,959	29,934
短期借入金	11,865	10,405
未払法人税等	2,184	962
賞与引当金	3,285	2,605
引当金	163	61
その他	8,277	9,456
流動負債合計	54,736	53,426
固定負債		
長期借入金	1,804	1,950
繰延税金負債	2,075	2,072
再評価に係る繰延税金負債	7,601	7,601
引当金	171	169
退職給付に係る負債	2,147	2,370
資産除去債務	405	405
その他	455	591
固定負債合計	14,661	15,161
負債合計	69,398	68,587

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,070	8,070
資本剰余金	2,074	2,074
利益剰余金	64,224	66,200
自己株式	△1,838	△1,936
株主資本合計	72,530	74,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,192	2,298
土地再評価差額金	17,255	17,255
為替換算調整勘定	1,760	4,617
退職給付に係る調整累計額	1,055	987
その他の包括利益累計額合計	22,263	25,159
非支配株主持分	8,425	9,240
純資産合計	103,219	108,808
負債純資産合計	172,617	177,396

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
売上高	75,521	87,536
売上原価	63,497	75,247
売上総利益	12,023	12,289
販売費及び一般管理費	6,552	7,272
営業利益	5,471	5,016
営業外収益		
受取利息	11	8
受取配当金	88	158
固定資産賃貸料	33	28
為替差益	—	590
その他	28	20
営業外収益合計	162	805
営業外費用		
支払利息	72	99
為替差損	125	—
その他	19	18
営業外費用合計	217	117
経常利益	5,415	5,704
特別利益		
固定資産売却益	13	15
関係会社清算益	—	885
特別利益合計	13	900
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	39	8
投資有価証券評価損	—	151
特別損失合計	39	160
税金等調整前四半期純利益	5,390	6,444
法人税、住民税及び事業税	1,178	1,488
法人税等調整額	△288	46
法人税等合計	890	1,534
四半期純利益	4,499	4,910
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,193	979
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,306	3,930

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
四半期純利益	4,499	4,910
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	557	106
為替換算調整勘定	811	3,911
退職給付に係る調整額	6	△67
その他の包括利益合計	1,375	3,949
四半期包括利益	5,875	8,859
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,634	6,825
非支配株主に係る四半期包括利益	1,240	2,033

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,390	6,444
減価償却費	4,836	4,894
賞与引当金の増減額（△は減少）	△374	△839
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	77	51
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△72	△161
受取利息及び受取配当金	△100	△166
支払利息	72	99
有形固定資産売却損益（△は益）	△13	△15
有形固定資産除却損	39	8
投資有価証券評価損益（△は益）	—	151
関係会社清算損益（△は益）	—	△885
売上債権の増減額（△は増加）	3,047	7,957
棚卸資産の増減額（△は増加）	△320	△2,603
仕入債務の増減額（△は減少）	△364	△661
その他	△1,928	△751
小計	10,288	13,523
利息及び配当金の受取額	100	167
利息の支払額	△74	△92
法人税等の還付額	5	29
法人税等の支払額	△652	△2,721
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,667	10,905
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,463	△5,266
有形固定資産の売却による収入	13	17
投資有価証券の取得による支出	△18	△30
関係会社清算による収入	—	949
その他	△76	△69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,544	△4,398
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△253	△2,894
長期借入れによる収入	10	200
長期借入金の返済による支出	△529	△611
自己株式の取得による支出	△0	△1,000
非支配株主への配当金の支払額	△561	△1,218
配当金の支払額	△813	△1,106
その他	△7	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,155	△6,672
現金及び現金同等物に係る換算差額	71	244
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,039	79
現金及び現金同等物の期首残高	17,132	21,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,171	21,634

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

①自己株式の取得

当社は、2022年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,420,800株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取による取得も含めて、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,000百万円増加しました。

②自己株式の消却

当社は、2022年5月13日開催の取締役会決議に基づき、2022年9月30日付で自己株式2,420,800株の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が7百万円、利益剰余金が847百万円、自己株式が855百万円減少しました。

上記の結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本剰余金が2,074百万円、利益剰余金が66,200百万円、自己株式が1,936百万円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車 関連事業	建設機械 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	58,070	16,117	74,188	1,333	75,521	—	75,521
セグメント間の内部売上高 又は振替高	492	902	1,395	—	1,395	△1,395	—
計	58,563	17,019	75,583	1,333	76,916	△1,395	75,521
セグメント利益	5,981	1,015	6,996	94	7,090	△1,619	5,471

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,619百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,620百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車 関連事業	建設機械 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	71,414	14,869	86,283	1,252	87,536	—	87,536
セグメント間の内部売上高 又は振替高	260	963	1,223	—	1,223	△1,223	—
計	71,675	15,832	87,507	1,252	88,760	△1,223	87,536
セグメント利益	6,593	96	6,690	50	6,741	△1,724	5,016

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,724百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,727百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。